

ものがたい もんちゃん物語

もんちゃんは、モンシロチョウ
の子どもです。5月5日にキャベ
ツ畑で生まれました。



はじめは、1ミリメートルくらいの大きさ
の黄色いたまごでした。キャベツの葉のう
らにしっかりとついていました。

**5月9日にたまごからあおむしのもんちゃんが
生まれました。モンシロチョウなどのよう虫は「あ
おむし(青虫)」といます。**



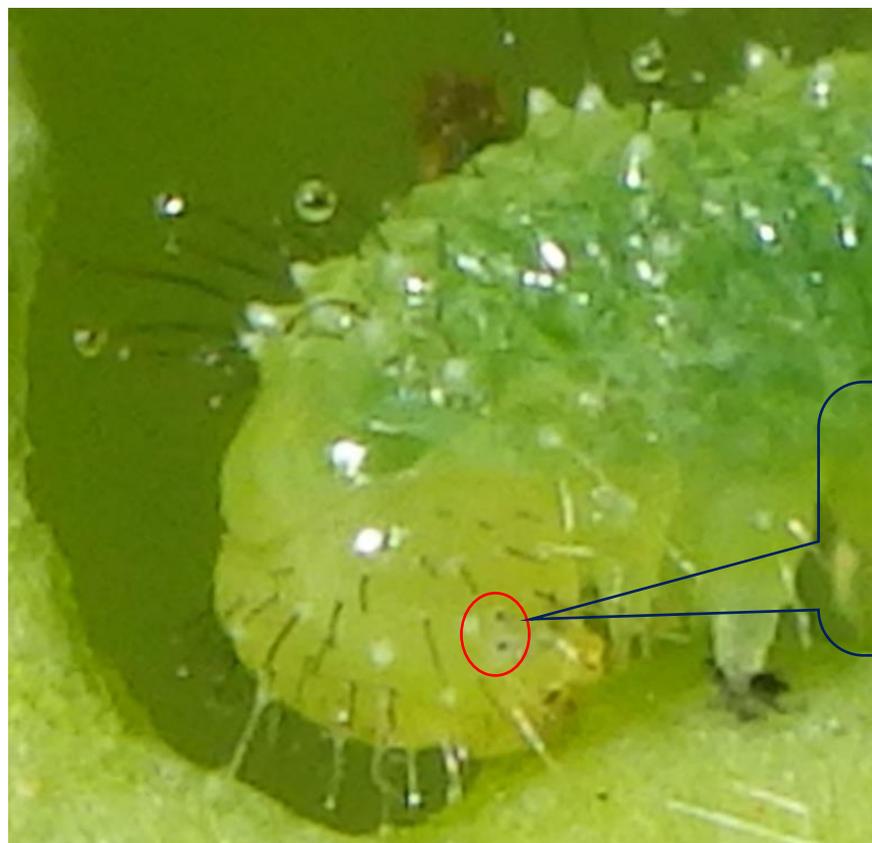
**大きさは、2ミリメートルぐらいです。すごく小さ
いです。生まれてすぐにおなかはいがすいていたもん
ちゃんは、自分が入っていたたまごのからをたべてしまいました。**

**それから、もぐもぐとキャベツの葉をたべはじめ
めました。あおむしのたべ物はアブラナ科のキ
ャベツ、コマツナ、ダイコン、カブの葉です。みな
さんもよくたべますね。このほかに、ナズナ、イヌ
ガラシ、セイヨウフウチョウソウ、キンレンカをた**



べます。この中でキャベツがあおむしの一番すきなたべ物だそう
です。

もんちゃんがキャベツの葉をたべているところを大きくして見てみ
ましょう。



ここが目だよ。

もんちゃんは、かわをぬいでどんどん大きくせいちょうしていきました。4回かわをぬいで3センチメートルぐらいになりました。



そして、5月28日にとうとうじっとごかなくなりました。白い糸のようなもので、自分の体をはこにくっつけました。



5月29日には、体の形がすっかりかわっていました。もんちゃんは、とうとうさなぎになってしまいました。



ここにいるこのさなぎが、もんちゃんです。もんちゃんが、ぶじにモンシロチョウになることができるようにみんなでおうえんしてね。

**もんちゃんは、さなぎになって1しゅうかんじっとしていました。
ところが6月5日のことです。さなぎのもんちゃんの体をよく見
ると、もようや目のようなものが見えたのです。**



はねのもよりのよう
に見えませんか。



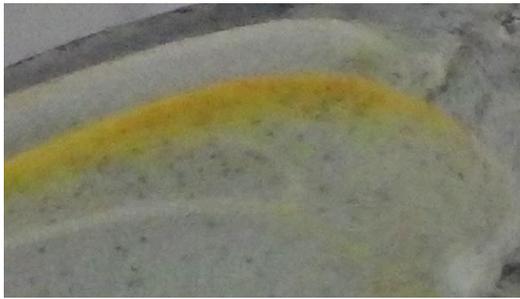
目のように
見えませんか。

**もしかすると、もうすぐもんちゃんがちょうになって出てくるので
はないかと思われました。**

そして、いよいよ、もんちゃんが成虫せいちょうになるときがきました。
6月6日のあさ、もんちゃんは、さなぎから成虫(ちょう)へ、大へんしんしました。ちょうになったもんちゃんは、はじめじっとして、はねをかわかしていました。



(はねのもよう)



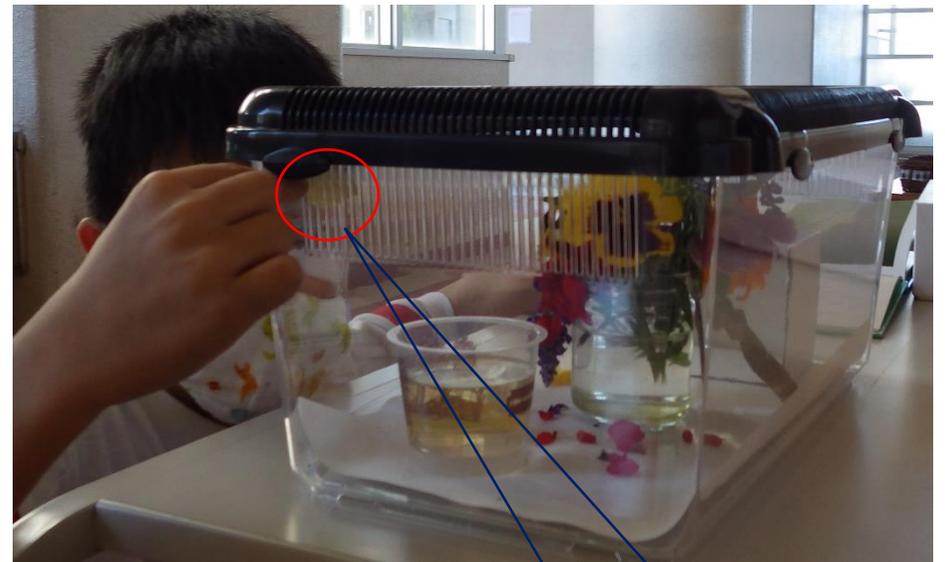
(かおのようす)



(さなぎのめけがら)



もんちゃんは、ちょうになつたので、えさは、花のみつです。そこで、花を入れてあげました。本にうすいさとう水をのむと書いてあったので、カップにさとう水を作って入れてあげました。休むためにとまる木も入れました。



もんちゃんは、ここに
にとまっているよ。

6月8日に、もんちゃんは、みんなにみおくられて、元気よく大空に羽ばたいていきました。



**もし、どこかでもんしろちょうを見かけたら、それは、もんちゃん
かもしれませんね。もんちゃん物語は、これでおしまいです。**

**どんなに小さな小さいのちでも、みんないっしょけんめいに生
きていることがつたわかりましたか。もんちゃんは、わたしたちに、い
のちのすばらしさとすごさを教えてくれました。**

もんちゃんありがとう。これからもがんばれ、もんちゃん！